

平成24年度「歴史と環境を学ぶ会」の事業報告

7月28日(土)に毎年恒例の「歴史と環境を学ぶ会」を開催しました。

本年度は、滋賀県の「多賀大社」と秀吉のつくった「長浜の町並み」を見学しました。

神戸市役所北側花時計前からバスで出発しました。阪神高速から名神高速に乗り、午前中に多賀大社見学の予定でしたが、琵琶湖で行なわれる鳥人間コンテストの影響で大渋滞。昼食後に多賀大社の見学となりました。

多賀大社では、湖国の夏の風物詩として有名な「万灯祭」の準備が行なわれており、1万2千灯もの献灯が飾られていました。ご住職より多賀大社の歴史や建物・庭の説明を受けた後、境内を各自見学しました。

その後、再びバスに乗り長浜へ移動しました。午前の渋滞により時間短縮を余儀なくされ、長浜曳山まつりの中心地「長浜八幡宮」の見学を断念しました。

長浜に到着した後、現地ボランティアガイドの案内により、「大通寺」を訪問しました。

真宗大谷派(東本願寺)の別院。正式には「無礙智山大通寺」といいますが、一般に「長浜御坊」の名で呼ばれています。伏見桃山城の遺構と伝わる本堂や大広間、長浜城の追手門を移築した脇門(薬医門)など、建造物の多くが、国あるいは市の重要文化財です。内部の障壁は、狩野山楽・山雪、円山応挙によって描かれており、その庭園は国の名勝に指定されています。

大通寺見学後、長浜曳山まつりを守り伝えていく施設「曳山博物館」の見学に行きました。

曳山は4基収蔵し、2基ずつを3ヶ月交替で公開しています。館内では曳山の舞台上で演じる子ども歌舞伎(狂言)の様子が映像で見られました。

その後、各自自由行動となりました。谷汲街道と北国街道の交差点にある「黒壁ガラス館」やその他、長浜の町並みを見学し午後5時半頃帰路につきました。

真夏の暑い中ではありましたが、帰りは渋滞にもあわず、皆無事にもどって来れました。長浜八幡宮の見学は出来ませんでした。大渋滞の中、ほぼ予定通りの見学内容が出来たと思います。最後になりましたが、多くの参加頂いた方々に心から感謝申し上げます。

日時:平成24年7月28日(土) 8:30~19:30

集合:神戸市役所北側花時計前 解散:三宮駅東ラウンドワン前

内容:多賀大社と長浜の町並み

多賀大社 太鼓橋(太閤橋)・神門・本殿・幣殿・拝殿・奥書院及び庭園

大通寺 本堂・大広間・含山軒及び蘭亭の障壁画・庭園

長浜の黒壁スクエア町並み散策

曳山博物館・黒壁ガラス館他

参加費:会員-4500円・非会員-6500円

参加人数:会員31名・非会員4名 合計35名



多賀大社 太鼓橋(太閤橋)・神門



多賀大社 本殿



大通寺



大通寺 本堂



大通寺 大広間



曳山博物館



多賀大社前にて集合



曳山博物館前にて集合